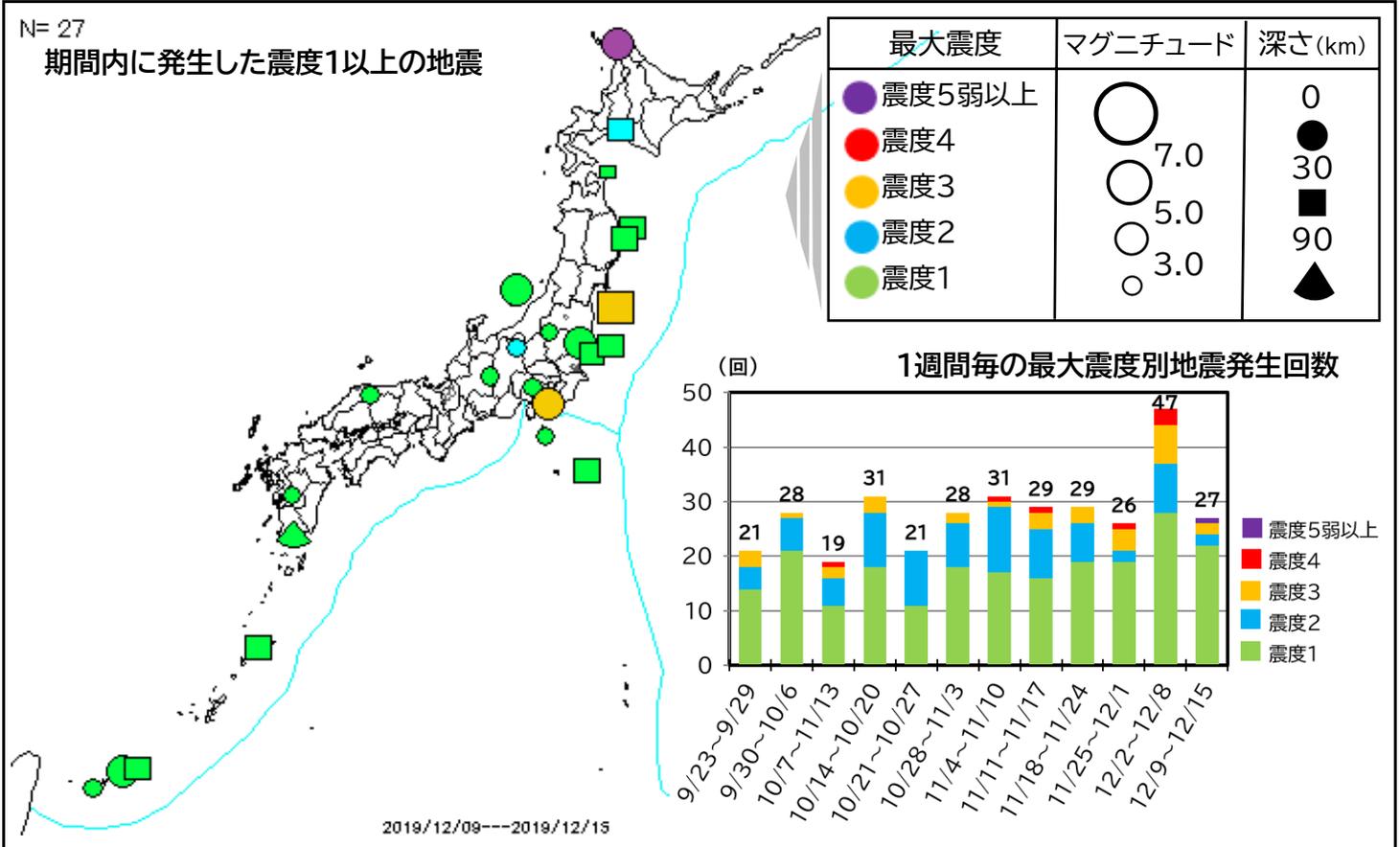


北海道 宗谷地方北部で震度5弱の地震が発生

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間中、震度1以上の地震が27回発生。このうち震度5弱が1回。12日01時09分に宗谷地方北部で発生した地震(M4. 2、深さ7km)により豊富町で震度5弱。この地震は地殻内で発生した地震ですが、横ずれ断層・逆断層などのタイプは現時点では不明。
- この地域の地震発生数は、日本のよその地域と比べると少ない所であり、1922年以降に宗谷管内の陸域で深さ30kmより浅い所で発生したM4. 0以上の地震は、今回の地震と2018年6月20日に発生したM4. 1(最大震度3:幌延町、天塩町)の2回のみです。また、宗谷管内で震度5弱以上の地震を観測したのは今回が初めてです。M4クラスと規模的には小さな地震ですが、豊富町の足元の直下で発生したため大きな揺れを伴いました。
- この地震のように陸域の深さ30kmより浅いM4クラスの地震は、国内では年に60回程度発生しています。言い方を変えると国内どこでも、このような震度となる地震が発生する可能性があると言えます。

トピックス

- 震度は人が体で感じた程度で判断する？ 機械で測る？ ■
- 震度の観測は、長い間、気象台や測候所に勤務する気象庁職員が体で感じた揺れの程度(体感)や周辺の被害状況から判断していましたが、平成2年度から一部の測候所で計測震度計とよばれる観測機器による震度観測に切り換わりました。
 - その後、順次、体感から計測震度計による震度観測に切り換え、平成8年4月1日から全ての震度観測点で計測震度計による観測となりました。震度観測が機械化されたことにより、人がいない場所でも震度を観測することが可能となり、現在は、気象庁のほか、地方公共団体や国立研究開発法人防災科学技術研究所が設置した計測震度計、合わせて約4,400地点で震度を観測しています。
 - 観測結果は気象庁から一元的に発表されテレビ等で速報されています。